

ダイヤ工業 ジャパンブルル

医療用品メーカーのダイヤ工業(岡山市南区古新田)は、ジーンズ製造販売のジャパンブルル(倉敷市児島味野)と女性用ジーンズを共同開発した。ダイヤ工業がサポーターで培った筋肉や骨格を支える技術と、ジャパンブルルの衣料製造ノウハウを融合。脚を美しく見せながら姿勢の補正効果を得られるのが特徴という。

細身のスキニータイプ。ストレッチ性に優れたデニム生地を使っているが、裏面には腰から太もも、膝の下にかけて伸びにくい生地をライン状に縫い付けた。同社によると、ラインが腰回りを引き締めて腰痛の原因となる骨盤の傾きを緩和するとともに、股関節や膝

女性用 脚も姿勢も美しく

ジーンズ共同開発

のゆがみを抑えて「O脚」になりにくくする。

ダイヤ工業がサポーターの機能を他製品に生かそうと、ジャパンブルルに呼び掛けて開発。同社がデザイン、生地の調達、縫製など製造全般を担当した。色はブルーで、シャツやトップスと合わせやすいすっきりしたシルエットに仕上げた。

商品名は「スタイリングデニム」で、20〜30代を主要ターゲットにした。価格は2万5千円(税抜き)。今月20日からダイヤ工業本社や通販サイトなどで販売している。

ダイヤ工業の松尾正男社長は「機能性とデザインを両立させたジーンズ。今後、も異業種との商品開発に挑戦したい」としている。

(伊東圭一)

サポーター機能活用



ダイヤ工業とジャパンブルルが共同開発したジーンズ。裏面(左)には姿勢を補正する生地を縫い付けた